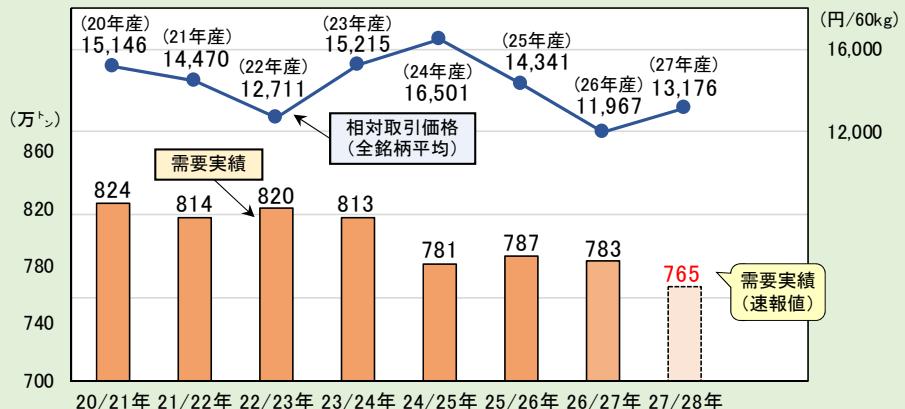


米の基本指針（案）のポイント

最近の需要動向

【最近における米の需要と価格の動向】



【需要動向】

- 27/28年（平成27年7月～平成28年6月）の需要量については、昨年11月の基本指針において、763万トンと見通したところであるが、実績は見通しを2万トン上回る765万トンとなった。
- 関係者からの聞き取りによると、量販店等の一般家庭用の売り上げが減少傾向にある一方、業務用については、米消費に占める中・外食の割合が年々増加傾向にあることに加え、売り急ぎ防止支援事業の玉など値頃感のある26年産米が供給されたこと等から堅調に推移。この結果、全体として需要の減少は当初の見込みよりも小さかった。

＜民間流通における6月末在庫の推移＞

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年 (速報値)
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	205

基本指針

【27/28年主食用米等需要動向】

<27年11月基本指針における見通し>
平成27/28年主食用米等需要量 763万トン
平成28年6月末民間在庫量 207万トン

<実績>
平成27/28年主食用米等需要量 765万トン
平成28年6月末民間在庫量 205万トン
※ 見通しに比べ需要量が+2万トンとなり、28年6月末民間在庫量は▲2万トン。

【28/29年主食用米等需要見通し】



【28/29年主食用米等需給見通し】

<27年11月基本指針における見通し>

(単位:万トン)	
A	207
B	743 (生産数量目標)
C=A+B	950
D	762
E=C-D	188
A	207
B	735 (自主的貿易参考値)
C=A+B	942
D	762
E=C-D	180

【備蓄運営】

- 28/29年の備蓄運営
 - ・ 28年産備蓄米の買入契約数量が22.5万トンとなつたことから、年産更新については、適正備蓄水準が100万トン程度であることを踏まえ、14.5～22.5万トンの範囲内で非主食用に販売。

(単位:万トン)	
A	91
B	22.5
C	14.5～22.5
D=A+B-C	91～99

＜今回の基本指針における見通し＞

(単位:万トン)	
A	205
B	743 (生産数量目標)
C=A+B	948
D	761
E=C-D	187
A	205
B	735 (自主的貿易参考値)
C=A+B	940
D	761
E=C-D	179